

兵庫県立姫路商業高等学校 創立記念日を迎えて

○姫商の歴史（なぜ、6月20日が創立記念日なの？）

開校!

明治44年4月 姫路市立姫路商業学校として開校

クラスは天組、地組13歳~16歳 110名

大正 3年 第一次世界大戦による日本の産業発展のため、商業学校卒業生の需要が増大

大正 6年 制服が筒袖、角帯・前垂掛姿から洋服へ変更

昭和 6年4月 兵庫県立姫路商業学校と改称（管轄が県へ移転）

昭和初期
(1931年)に海外
研修旅行

満鮮旅行 異民族の文化に接し、卒業後に海外発展に資する目的で、昭和2年から2週間の日程で満州・朝鮮を訪問・見学

昭和10年 軍隊化の方向へ

この当時にテニスコートがありました。

GHQ（連合軍最高司令部）による学生の改革

昭和20年 第2次世界大戦終わる

昭和22年 教育基本法、学校教育法公布 6.3.3.4制（小中高大）が成立

昭和23年4月 兵庫県立姫路商業高等学校へ改称

アメリカ軍政部教育局は、単独商業学校は設けない方針

9月 進駐軍の要請により姫路市立第一高等女学校（現琴丘高校）

校舎に一部移転。男女共学となった。

（姫商 男子生徒 琴丘 女子生徒）

アメリカ軍政部の厳しい指令
高校全日制3原則
男女共学・総合制・学区制

昭和24年3月 兵庫県立姫路商業高等学校廃校

県教育委員会より合併の指示

昭和24年4月 兵庫県立姫路東高等学校へ合併

ここから10年ほど単独校としての県立姫路商業高等学校が消滅します。

GHQに指導により単独商業高校が全国的に消滅

昭和32年5月 復活のため、琴陵会が期成同盟会を結成し、募金活動を実施

姫商を復活させるため、琴陵会が各方面に活発に動く。

この当時に約1,500万円を集めた。4千人の琴陵会の先輩が復活に力を注ぐとともに、当時の姫路市長、姫路商工会議所等も姫路での単独商業高校復活に協力していた。（現在の井ノノの土地は姫路市が買収して準備）

昭和35年11月 兵庫県立姫路商業高等学校開設準備開始

復活

昭和36年4月 兵庫県立姫路商業高等学校開設

校舎が未完成で、姫路西高校の校舎を一部借りていた。

Answerです。

昭和36年6月20日 開校記念式

「昭和 36 年6月 20 日に厳粛に開校記念式典が行われ、栄光と祝福つつまれながら、名実ともに新しい歴史の第1ページを踏みだした。」

（出典：創立 90 周年記念誌より）

※GHQ・・・《General Headquarters》総司令部。特に、第二次大戦後、連合軍が日本占領中に設置した総司令部。マッカーサーを最高司令官とし、占領政策を日本政府に施行させた。（出典：コトバンクより）

情報科学科設置

1983年、全国に先駆けて「情報科学科」が設置された。難関の通産省情報処理技術者試験で、在学中に二種、一種（現在の基本情報、ソフトウェア開発者：国家試験）の合格者が相次いだ。

兵庫県立姫路商業高等学校 創立記念日を迎えて

○建学の精神

「教育基本法の精神に基づいて、播磨産業地帯の健全な発展に貢献し、国家社会の福祉に寄与できる教養豊かな近代的産業人を育成する。」

○校章…伝統に根ざす教養と自ら進めて止まない無限の発展性を象徴。教育するものと学習する者との理想の調和が表現されている。

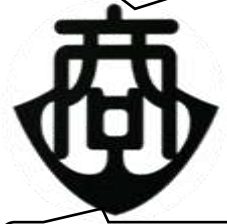
「商」の文字は、旧制姫路商業学校の校章をそのまま生かし、50年の伝統に輝く同校との深いつながりを表している。台座には3つの意味がある。

一、世界文化遺産 姫路城 伝統文化の精華によって、文化と歴史の尊重を表現
一、「鷺」が両翼を広げて今まさに飛び立とうとしている動的な姿。

そこに限りない力と発展との可能性を表現

一、台座がペンをかたどっている。ペンが文化と教養、勉学と修養を意味している。

旧制姫路商業学校の校章



台座：ペンの先のようにになっている。

この台座が、歴史のある旧制姫路商業学校の「商」を捧げているところに意義があり、校章は「古い川に古い水は流れていない。日進月歩の時々刻々を創造してこそ、伝統を正しく受け継ぎ、それはまた、真に新しいものをつくり出すことになる。伝統に支えられ、新しい文化を商業の立場から無限に追及することの尊さ」を、語っている。

○校旗(卒業式等に演題に設置しています)

昭和24年以来、母校の復活を願い続けた4千人余りの同窓生の心からの祝福と祈りがこめられ、琴陵会から贈られた旗です。卒業式等に演題に飾らせていただいています。

昭和34年に琴陵会の皆さんが、姫商復活のために、その当方で1,500万円(現在でいうと、約2億7500万円:大卒の給料当時10,900円をもとに換算)の資金を集めました。

○校歌

建学の精神を基調として、「校旗」の象徴する魂を言語化し、「生活綱領」(後述)にまで発展できるよう、主題を「自他敬愛」としている。

具体的には

①「敬愛の精神」→自主的、主体的な精神を身につけることが、自己を敬愛する出発点である。自主性、主体性は並たいていの努力では身につかない。たくましい意志力や剛健な精神が要求される。そして、自主性を確立するところに、真の自由が保証される。そのような自主性を母校の使命と結び付けて歌っているのが一番。

1. ^{あおくも}青雲遥けき 播磨の海は
文化の潮の 脈うつところ
産業日本を 導きここに
世界を結ばむ 母校の使命
ああ 自主の道を 共にさきがけ
栄えある校風 築かむわれら
姫商 姫商 ああ 姫路商業高校

兵庫県立姫路商業高等学校 創立記念日を迎えて

②「無限の創造」→敬愛の精神(自主的な精神)が文化や物に向かえば、「創造性」につながる。

現在に徹しながら(今を厳しくし取組ながら)、伝統を尊重しつつ、未来への光を創造していく。

その「創造性」を歌ったのが二番。

2. 真白に聳ゆる 五層の城を
振り上げ仰げば 光ぞ満つる
伝統正しく 承け継ぎここに
現世を厳しく あしたを開く
いざ 友よ 友よ 希望に燃えて
無限の創造 讃へむわれら
姫商 姫商 ああ 姫路商業高校

③「友情」→敬愛の精神(自主的な精神)が身につくと、「友情」となり、「友愛」となる。

3. 池面ぞ清けき みどりの丘は
心の故郷 力の泉
ひとしき 理想に 拳りてここに
敬愛の誓ひ 今ぞ花咲く
いざ 声揃へて 久遠の友情
母校の栄えを 謳はむわれら
姫商 姫商 ああ 姫路商業高校

○生活綱領

建学の精神を具体化した日々の生活目標。生徒は日々、①自分で考え、②創意工夫し、③仲間を大切にする。生徒だけではなく、学校関係者すべてに共通すべきといわれてきた。生徒が育つ環境を整えよということ。

生活綱領

- 一 自分で考え自分で行う人となろう
- 一 創意工夫に生きる人となろう
- 一 とともに喜び生きる人となろう

○みなさん知っていますか?通用門の横にある大きな石碑を。

成功碑

「創業の才は秀吉に学び、守成の識は家康に習う」とする「成功碑」。1917年(大正6年)10月28日除幕。2代目校長松村明敏が人生に成功する道を示そうと碑文の筆を執った。「姫商精神」である「至誠を中軸とする創業と守成の精神」に通じる。開校以来の卒業生に、企業の創業者が多かったのは、この伝統による。

姫路の企業家を多く輩出しています。詳細は琴陵会ホームページをご覧ください。



校舎の東側に「創業之才可学之於秀吉公守成之識可之於家康公」の巨石碑が建つ

<http://www.l.winknet.ne.jp/~himesyokinryokai/index.html>

(本校ホームページからもリンクしています。)

兵庫県立姫路商業高等学校 創立記念日を迎えて

○姫商音頭

みんなが気軽に口ずさめるような、もっとくだけた歌詞で、ということで生徒の発案によって生まれたのが姫商音頭。

この姫商音頭は、一時途絶えた。苦難の末、旧制姫商の卒業生、本校の校長藤本俊和先生が昭和62年の体育大会より復活させ、現在まで33年間続いている。

○まとめ

姫商の歴史を調べると、姫商は地域産業の人材の柱であった。いや、地域だけではなく、グローバルな人材も多く輩出している。商業を学ぶものは、英語や多国語を話し、バイリンガルであった（戦前）。第2次世界大戦後は、GHQの影響を多大に受け、単独商業としては一時消滅する。

しかし、琴陵会の先輩方の真摯な努力の証が、本校の単独商業高校としての復活である。

そして、建学の精神、校章、校旗、校歌、生活綱領、姫商音頭とすべてにその強い思いが反映されている。その当時から目標として掲げていた自主、自己愛等の目標は、現在にも十分通用する、まさに、先導的な学校であったのではないか。

110年の創立記念日を契機にいろいろ調べてみましたが、日ごろからつけている校章にそのような意味があったのか、先輩方の強い思いを知っていただき、ぜひ、姫商生として自信をもって、これからの高校生活の糧にしてください。